

平成24年度

○第20回県政ひざづめ談議の結果概要

開催日時	平成25年3月15日(金) 午後1時30分から午後2時50分頃まで
対話テーマ	介護サービスのあり方について
対話場所	甲府市北新 「山梨県福祉プラザ」
参加者	山梨県介護支援専門員協会 13人
参加者の 主な発言	<ul style="list-style-type: none"> ・県の協力により主任介護支援専門員の養成研修を行っているが、ネットワークづくりも大事であり、これに対するフォローが今後必要になると思うので、県の支援をいただけるとありがたい。 ・今年12月、富士吉田市において、日本介護支援専門員協会の全国大会が1千人規模で開催される予定なので、知事さんの出席など県のご協力をお願いしたい。 ・県で立ち上げていただいた「介護・医療連携推進協議会」を通じて、医師とケアマネジャーの意見交換の場を作っていただけると、非常にありがたく、心強い取り組みになると感じている。 ・行政と協力しながら、介護保険の周知や介護支援専門員の質の向上に取り組むことにより、適切な介護サービスを提供し、地域の方々に山梨に住んで良かったと思ってもらいたい。 ・適正な介護保険事業の運営と高齢者の自立支援のためには、独居老人を定期訪問することにより、現状を把握し、早期発見するなど、「予防」に力を入れることが必要であると考えている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>
知事の 主な発言	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の介護支援専門員協会は、全国の中でも非常に組織率が高く、そして他県に先駆け様々な活動を活発に行っている団体であるということを知り、嬉しく思っている。 ・地域包括ケアシステムの確立・実現には、介護と医療の連携が非常に重要である。 ・個々の要介護者に合った一番良いサービスを提供するにあたっては、公平でなければならない。そのためには、研修や事例研究、情報交換を行い、統一的な認識を持つ必要がある。 ・皆さんが各々悩みを持ちながら、誠心誠意、研修をして自らを高め、情報交換をし、一生懸命高齢社会対策のために頑張っていただいております、非常に心強く思っています。 ・行政としても、共通の目的を持った皆さんの仲間として、一緒に頑張っていきたい。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>